

東京都市計画道路 放射第5号線
(杉並区久我山二丁目
～久我山三丁目)

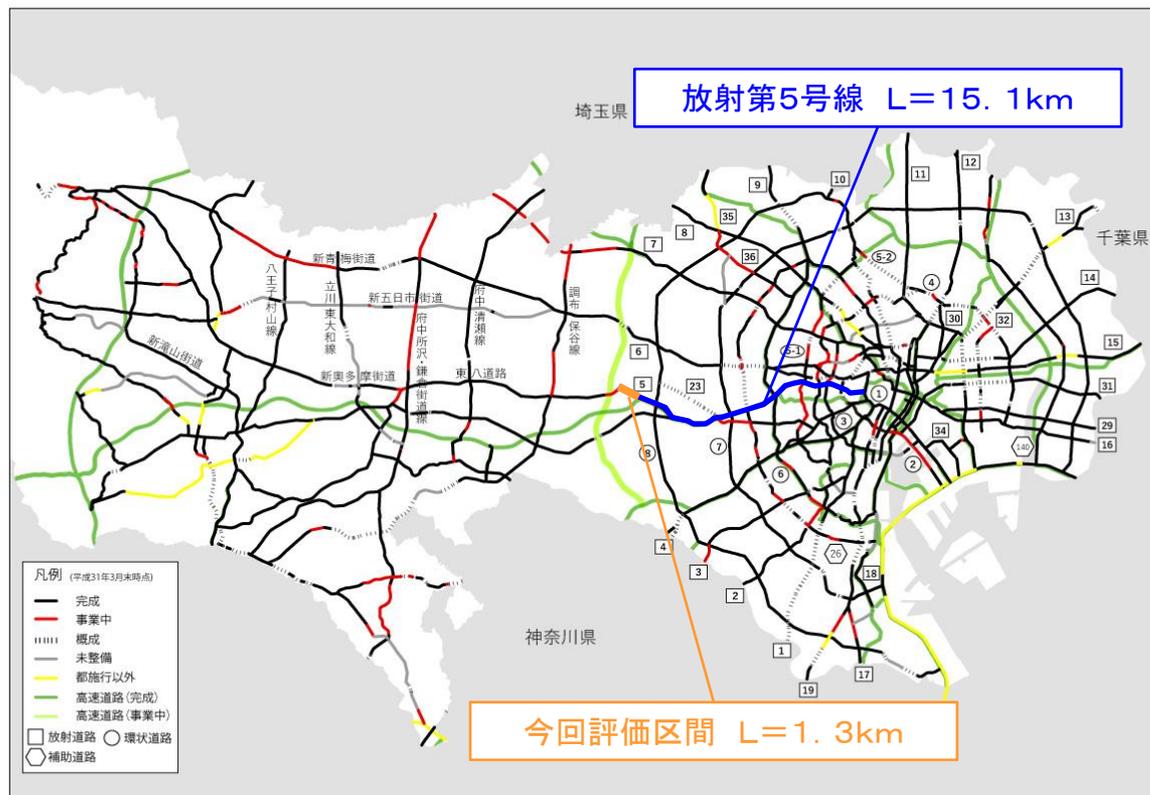
令和元年6月24日(月)
建設局道路建設部

目次

1.	事業概要	1
2.	社会経済情勢等の変化	8
3.	事業の投資効果	10
4.	事業の進捗状況	15
5.	事業の進捗の見込み	17
6.	コスト縮減等	18
7.	対応方針(原案)	19

1. 事業概要

全体図



- 放射第5号線は、千代田区麴町一丁目を起点に、多摩地域の東八道路に接続する区部と多摩地域を結ぶ延長約15.1kmの都市計画道路であり、当該区間は杉並区久我山から三鷹市境までの延長約1.3kmの区間である。

1. 事業概要

事業期間

平成17年度～令和2年度

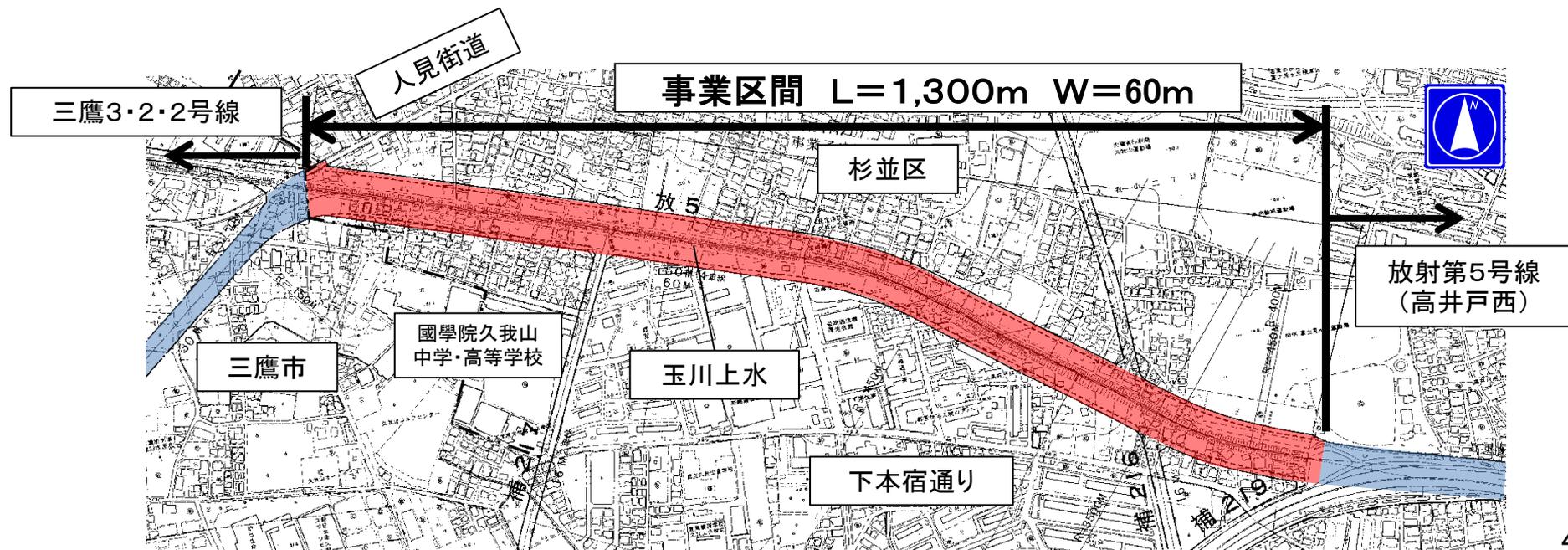
事業の概要

・本事業により、並行する甲州街道の交通渋滞の緩和や、生活道路への通過交通減少による安全性の向上、安全で快適な歩行空間の確保が図られる。また環境施設帯や玉川上水沿いに緑道を設置することにより、良好な沿道環境を確保するとともに、都市景観の向上を図る。

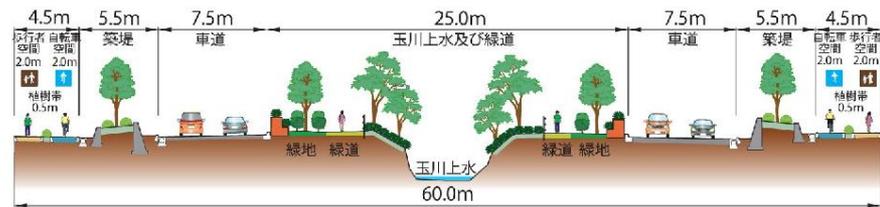
1. 事業概要

事業の概要

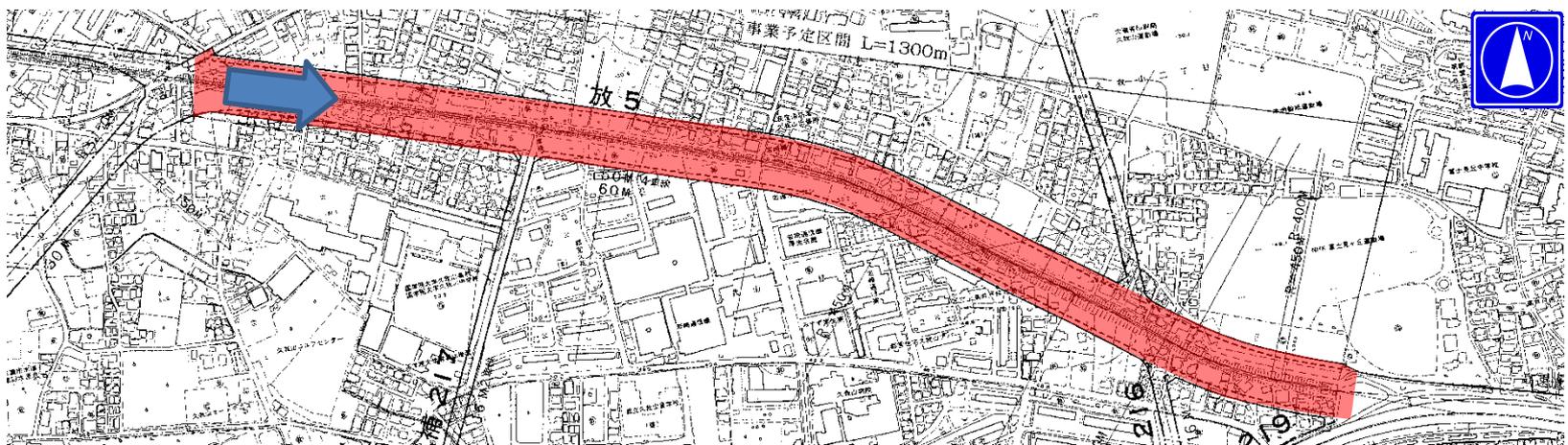
・放射第5号線は、区部と多摩地域を結ぶ重要な幹線道路である。このうち本事業区間は、放射第5号線のうち唯一の未整備区間で、甲州街道と東八道路を結び東西方向の新たなネットワークを形成する路線である。また東京外かく環状道路へのアクセス道路としての機能も有する。



1. 事業概要



標準断面図



1. 事業概要

経緯

年度	計画等
昭和21年3月26日	都市計画決定
平成16年5月14日	都市計画変更(幅員50m→60m)
平成17年12月20日	事業認可取得
令和元年6月8日	交通開放
令和3年3月31日	事業認可期間

1. 事業概要

6月8日15時 交通開放の状況



放射第5号線
下り線(浅間橋付近)



放射第5号線
下り線(牟礼橋付近)



三鷹3・2・2号線
上り線(市道64号付近)



三鷹3・2・2号線
上下(牟礼橋Uターン路付近)

2. 社会経済情勢等の変化

社会経済情勢の変化

本路線周辺の平成27年度の現在交通量は、平成22年度と比較しても、ほとんど変化していない。

現況自動車交通量【国道20号】(道路交通センサスによる)

平成22年度:28,411台/12h

平成27年度:24,188台/12h

事業を取り巻く状況の変化

西側隣接区間である三鷹3・2・2号線、東側隣接区間である放射第5号線(高井戸西区間)について、令和元年6月8日(土)4車線で交通開放を行った。

本事業区間の西側において、東京外かく環状道路(関越～東名間)を整備中である。開通時期は未定となっている。

2. 社会経済情勢等の変化

位置図



3. 事業の投資効果

定量的効果

【便益(B)の算定】

走行時間短縮便益	1238.2億円
走行経費減少便益	60.5億円
交通事故減少便益	1.0億円
現在価値化総便益額	1299.6億円

【費用(C)算定】

現在価値化総費用額	567.6億円
工事費	192.3億円
用地費	363.4億円
維持管理費	11.9億円

※費用便益分析マニュアル(国土交通省 平成30年2月)に基づき分析

【費用便益比(B/C)の算定】

$$B/C = 2.2 \text{ (前回評定時 } B/C = 2.9 \text{)}$$

3. 事業の投資効果

定性的効果

- 1、交通渋滞の解消
- 2、物資流動円滑化への寄与
- 3、都市景観の向上
- 4、交通事故の減少
- 5、緊急車両の走行
- 6、延焼遮断
- 7、バリアフリー化
- 8、公共施設へのアクセス向上
- 9、迂回交通の減少
- 10、自転車や歩行者のための空間確保
- 11、災害時の避難路の確保

3. 事業の投資効果

定性的効果

1、交通渋滞の解消



甲州街道(松葉通り入り口交差点付近)



下本宿通り(久我山一丁目交差点付近)

3. 事業の投資効果

定性的効果

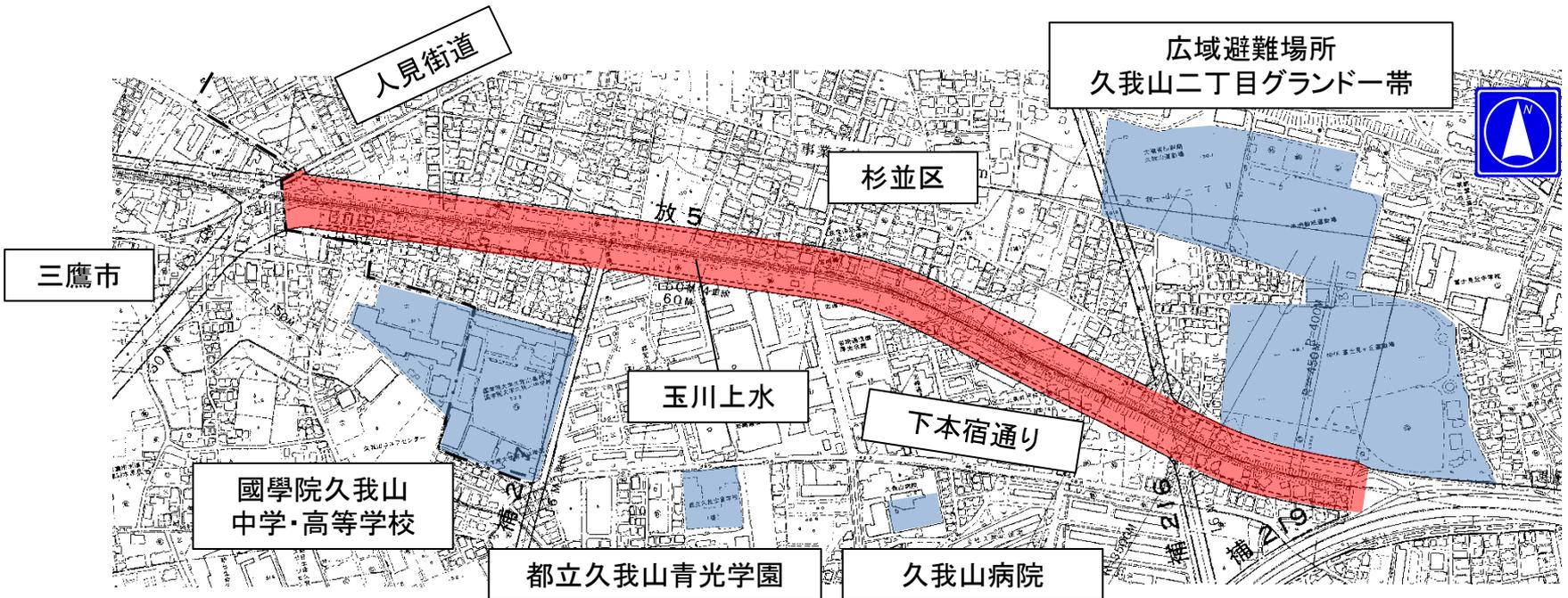
10、自転車や歩行者のための空間確保



3. 事業の投資効果

定性的効果

- 8、公共施設へのアクセス向上
- 11、災害時の避難路の確保



4. 事業の進捗状況

(H30年度末時点)

事業費の執行状況

	用地費	工事費	合計
全体事業費	38,234百万円	2,148百万円	40,382百万円
執行済額	38,228百万円	1,752百万円	39,980百万円
執行率	99.9%	81.6%	99.0%

用地取得状況

取得予定面積 (A)	既取得面積 (B)	用地取得率 (B/A)
52,361m ²	52,360m ²	99.9%

4. 事業の進捗状況

一定期間を要した背景等

- ・本事業区間は、現道の無い新設道路であり、地権者が多いため用地折衝に時間を要した。また国指定の史跡である玉川上水を含む都市計画となっており、橋りょう部(牟礼橋)の文化庁協議や整備形態について地元との合意形成に時間を要した。
- ・「放射第5号線事業推進のための検討協議会」等を通じて、当該事業に対する理解を得た。

事業の進捗状況・残事業の内容

- ・令和元年6月8日(土)に交通開放を行った。
- ・歩道のインターロッキング舗装工事を残すのみとなっている。
- ・用地については、狭小な画地が1件残っている。

5. 事業の進捗の見込み

今後の事業の進捗見込み

- ・歩道のインターロッキング舗装工事を実施し、令和2年度完了予定。
- ・未取得用地の早期取得を目指し、折衝を進めている。



現在の舗装



歩行者空間
暖色系舗装
(ダークオレンジ・
ディープレッド・オレンジ)

自転車走行空間
寒色系舗装
(グレー)

整備イメージ図

インターロッキングブロック舗装の整備イメージ

6. コスト縮減等

事業手法、コスト縮減取り組み

- ・令和元年6月8日(土)に交通開放を行った。今後施行する内容は、インターロッキングブロックでの歩道舗装工事であり、施工に当たって新工法を採用する余地は極めて少なく、事業手法、施設規模等を見直す可能性はない。
- ・施工に当たっては建設発生土の再利用や再生材の使用を行っている。

7. 対応方針(原案)

- 本路線は都市の骨格を形成し、区部と多摩地域を結ぶ重要な幹線道路であるとともに、東京外かく環状道路のアクセス道路の機能も有する。
- 本事業区間は放射第5号線のうち唯一の未整備区間であり、本区間の整備により交通渋滞の緩和、安全で快適な歩行空間の確保、都市景観の向上等、様々な面で十分な整備効果が期待できる。
- 中止の場合は、上記の整備効果を発揮できないだけでなく、これまでの投資に見合った効果も得られなくなる。



継 続